

第15回 かたの環境を考える委員会

*日時：平成23年5月2日（月） 18:30～21:30

*場所：交野市役所 別館3階中会議室

*テーマ：問題の抽出

18:30 交野市環境保全課長より開会の挨拶。

18:33 本日のナビゲーター：環境市民事務局長 堀孝弘

前回の概要説明の後、前回欠席で、今回出席された委員のグループの所属先を確認し、グループ活動に入った。

18:45 各グループでの話し合い

グループ共通の進行

- ① この委員会の流れと今回の位置づけについての説明
- ② 問題と課題の違いについて説明
- ③ 問題点の抽出
- ④ 各問題点の重要度と緊急度

★各グループから出された意見

【自然環境保全グループ】

前回の宿題について一人ずつ発表してもらおうとともにそれがどのような問題であるかをみんなで話し合った。

問題をポストイットに書いて模造紙に貼りだしたものを全員で見ながら共有し、もれや補足がないかを話し合った。



問題は、以下の通り46項目出された。

〔里山・森林〕

1	山が荒れている
2	森林の整備がされていない
3	管理をしっかりとしていない
4	間伐されていない
5	人工林が放置されている
6	保水力が弱まっている
7	里山が荒れている
8	里山の竹林が増えている
9	竹林が自然に増え続けている
10	里山の竹林が放置

〔参加の仕組み〕

21	行政の方向性が不明瞭
22	開発規制がわかりにくい
23	山の権利関係が把握されていない
24	地主との関係がうまくいかない
25	個人の土地には入れない
26	山林の保全はボランティアに依存している
27	ボランティアだけでは難しい
28	ボランティアだけでは追いつけない
29	今行われている活動が持続的に出来る仕組みがない
30	手入れをする人が少ない

11	里山の手入れが行き届いていない	31	現在のボランティア活動(3団体)が市民に行き届いていない
12	竹林が増加している	32	各団体ばらばらでやっている
〔川〕		33	炭焼きボランティアに参加してほしいというPRがうまくいっていない
		34	興味を持ってもらえていない
		35	市民、地主が環境を大事にしていない
		36	市民の自然環境に対する意識が低い
		37	市民が何の活動もしていない
		38	日常生活から市民にやれることがない
		39	ボランティアに参加できる仕組みがない
		40	市民がやる気になる活動がない
13	川が荒れていた	41	市民農園が農協になり、価格アップで何もしてくれない。
14	天の川の水質の問題	42	水質ではなく豊かであるかどうかの調査が必要
15	上流の川が汚い(ごみがある・鉄を含み黄色い状態)	43	自然が開発されている
16	小魚が少ない、鳥が見られない	44	歩ける歩道がない
17	川の水量が減っている	45	大きな木が少ない
18	川の周辺に廃棄物が散乱している	46	農地の後継者が少ない
19	川に下りて行くことが難しい		
20	上流、中流、下流のみなさんの気持ちが一体となっていない		

各問題について、重要度・緊急度を確認したかったが時間がなく、次回からはこの優先順位をみんなで決めるところから始める。各問題について、重要度・緊急度を各々で考えてくることを宿題とした。

【まちづくりグループ】

前回、これまでの学習会等で書かれたワークシートなどから「まちづくりに関する問題」を34項目洗い出した。今回、そこに反映しきれていない問題を追加し55項目の「まちづくりに関する問題」を洗い出した。

それらを、それぞれの分野で重複しているものを明らかにし、13項目にまとめた。それをポストイットに書き出し、模造紙に貼り、問題の重要性や緊急性等を考えた。

洗い出した問題は下記の通り。(上から重要度が高い順で、各重要度の内容は、上から緊急度順になっている。)



□ 重要度1

- ・コミュニティの場づくり、人づくり、仕組みづくりが出来ていない

- ・自然の資源を活かせていない
- ・金がない、産業がない

重要度 2

- ・地域における人間関係が希薄になってきている
- ・里山の荒廃が進んできている
- ・田園風景がなくなりかけている
- ・農地が活用されていない
- ・農業が衰退している

重要度 3

- ・観光資源が活かされていない

重要度 4

- ・公共交通の利便性が低い（特にバス路線）
- ・自転車で安全に走れる道が非常に少ない

重要度 5

- ・マナーが出来ていない

重要度 6（低い）

- ・地元に対して、経験や知恵を活用してくれる人が少ない

【エネルギーグループ】

前回、これまでの学習会等で書かれたワークシートなどから「エネルギーに関する地域や社会の問題」を 22 項目洗い出した。今回、そこに反映しきれていない問題を追加し 35 項目の「エネルギーに関する地域や社会の問題」を洗い出した。

それらを「省エネ」「創エネ」「啓発・情報」「浪費の実態」の 4 分野に分け、それぞれの分野で重複しているものを明らかにするとともに、問題の軽重や緊急性等を考え、19 項目に絞り込んだ。

次回、19 項目の問題の整理や他のグループで扱った方がよい問題の洗い出しをする。以降、問題を課題に置き換える。ここまでに洗い出した問題は下記の通り。

省エネ

- ・雨水の利用が進んでいない
- ・LED が普及していない。 LED の効果が理解されていない
- ・自転車利用が広まっていない。 自転車で走りにくい
- ・住宅のエネルギー効率が低い（日本の住宅全般）
- ・低公害車が普及していない

創エネ

- ・地域の水資源が発電等に活かされていない。
- ・太陽光発電、太陽熱利用が普及していない（燃料電池、コジェネも）
- ・地域のバイオ資源が十分活用されていない
- ・風力発電が普及していない

啓発・情報

- ・家庭から排出されている CO₂ の実態がわからない

- ・節電の効果やメリットが、一般消費者によく知られていない。
- ・省エネを当たり前に行うための自覚が浸透していない
- ・企業の省エネを支援するコンサルタントが不足している。
- ・ESCO 事業などのメリットが、よく知られていない。”
- ・企業の省エネの取り組みが知られていない
- ・環境問題に関心のない人が多い

□ 浪費の実態

- ・自動車が増えた。自動車に頼った生活が当たり前になっている
- ・電気を多く使う自動販売機が増えた
- ・24 時間営業の店が増えた
- ・たくさんのエネルギーを使った食べものを食べている

【エコ生活グループ】

分類	問題	重要度	緊急度
環境教育	省エネ、環境問題等何が正しいか分からない	高	高
	環境とくらしに関する講座がない(エコライフ講座)	高	高
	グリーンコンシューマー学習の場がない	高	高
環境活動	学んだことを活かして行動する場・仕組みがない	高	高
	環境活動していない人がいる	高	高
	環境活動をする若い人が少ない	高	高
仕組み (ごみ)	生ごみ利用されていない	高	高
	生ごみそのまま捨てられていて、利用されていない	高	高
	生ごみの堆肥化は、個人で行うと挫折するので、プラントを作 ってほしい	高	高
	生ごみプラントがない	高	高
	ごみを減らす仕組みができていない(生ごみ・容器包装・粗大 ごみ)	高	高
仕組み (ごみ)	使い捨て商品が多い	高	高
	使い捨てされるものが多い(大量生産・大量消費・大量廃棄)	高	高
	まだ使えるものが捨てられている(家具・衣類・家電 etc.)	高	高
	安価な便利グッズが増えたが、壊れやすく、結局ごみが増える	高	高
意識(ご み)	必要性を考えてモノを買っていない	高	高
	必要以上に買い過ぎ	高	高
農地・土地 利用	農地を耕す人が少ない	高	中
	土地の売買使用に当事者以外が関われない	高	中
	農地保全のための仕組み(手段)がない	高	中
	れんげの活用	高	中
	農地が利用されていない	高	中

	観光農場がない	高	中
まちづくり	永住魅力あふれる交野。借りものの環境だ(山・田・畑)	高	中
仕組み(全般)	環境に取り組む人が得する仕組みがない	高	中
環境教育	学んだ人が伝えていく場がない	高	中
	環境問題を体験するところがない	高	中
意識(食品ごみ)	食べ残しが多い	高	中
	食品ごみが多い	高	中
教育	賞味・消費期限の違いの理解がない	高	中
仕組み	家庭での環境の度合いを測る方法がない(環境家計簿がいる)	高	中
学校教育	家庭における化学物質の勉強をできる場所がない	高	低
	国の教育指導要領に環境教育が入っていない	高	低
	先生の環境に対する意識が少ないので、先生への教育が大事	高	低
	先生の教育がされていない	高	低
ごみの仕組み	使い捨てを考えてリペア・リフォームできる場所がない	高	低
ごみへの意識	リサイクル等、ごみ処理にかかる費用を知らない人が多い	高	低
まちづくり	24時間営業の店はこんなにたくさん必要あるの？	中	低
	24Hのお店が多い	中	低
仕組み(ごみ)	包装用のプラごみが多い	中	低
	捨てるもの(ごみ)に支払う税金をもっと減らせるかも	中	低
	ペットボトルはいらない	中	低
	ペットボトルの存在	中	低
	粗大ごみの回収システムが問題	中	低
	レジ袋いらない(有料化)	中	低
	レジ袋の存在	中	低
その他	近場のキャンプ地等で客が増えた分、ごみも増える	低	低
意識(ごみ)	旬や輸送距離をあまり意識しない生活	低	低

21:30 グループごとに終了